

【一回戦】 A①

4回裏攻撃中、時間切れ

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
松浦市役所	1	2	0	0						3
勝本北星	8	1	1	1x						11

開始 08:24 終了 09:54 所要 1時間30分

【本塁打】 益本怜(オーバーフェンス)

【三塁打】 長谷川剛介、白川秀貴

【二塁打】 平田佑三郎、眞辺信吾

【審判】 波多野幹治

扇 裕二

築城公則

小田剣生

【松浦市役所】 打安点球

②5	吉田 拓平	23	3	1	1	0
⑥1	荒木 勝之	48	2	0	0	0
①46	益本 怜	23	2	1	1	0
⑦	松本 行央	27	2	0	0	0
④14	平田佑三郎	36	2	1	0	0
③2	井戸 紳介	47	2	1	0	0
⑤3	中村 大地	30	2	0	0	0
⑨	金福英一郎	37	2	0	0	0
⑧	田川 聖治	22	2	1	0	0
犠0振5残4併0失1		19	5	2	0	

松浦市役所は益本の93mフェンス越え本塁打で幸先の先取点を挙げたが、守備については防戦一方で四回時間切れにより同じC級の勝本北星に初戦で敗退。二回には先頭平田の左中間二塁打から井戸の連打で一三塁とし、敵失で1点。田川の安打で満塁として吉田の適時打で2点目を奪い、尚も一死満塁と攻め立てたが後続が倒れた。

勝本北星は先頭から3連続四死球を得、一死後に本田が逆転の右2点打。さらに挟殺プレイのミスや暴投などで2点を加え、死四球で貯めた2者を監督の長谷川が代わった平田から右に三塁打すると、眞辺の右中間二塁打や打者11人目の松永の左適時打で大量の8得点。二回には代わった荒木から本田が四球出塁の二死二塁に槇木の適時打。三回にも四球(二盗)の二死後に山田の適時打で10得点目。四回は敵失から白川の三塁打で加点し、二死となったところでタイムオーバーの試合終了。

【勝本北星】 打安点球

⑧	下條弘二郎	27	1	0	0	2
④	松永 祥吾	30	2	1	1	1
⑤	山田 敬吾	27	2	1	1	1
③	中原 悠太	24	3	0	0	0
⑨	本田 雄大	27	2	1	2	1
⑥	白川 秀貴	27	3	1	1	0
⑦	槇木 翔人	24	2	1	1	1
①	長谷川剛介	37	3	1	2	0
②	眞辺 信吾	29	2	1	1	0
犠0振2残4併0失2		20	7	9	6	

[その他の登録選手] 監督:柴山政博(45)
 岩本北斗(20)、川崎祐一(38)、田代貴洋(23)
 山口莉央(21)、松田富士夫(46)、金子圭史(38)
 岩佐宏昭(38)、佐々木浩通(44)
 山崎剛(42)、梶川誠(43)

松浦市役所は平成21年以来10年ぶりの天皇賜杯県大会出場。10年の対馬開催大会にも参加し初戦は相手棄権により不戦勝。二回戦で三菱重工長崎と対戦は1-6敗戦。当時に出場した選手数名が21年ぶりに今回も参加。

[その他の登録選手] 中村龍之介(21)
 竹原潤(21)、川谷晃平(27)、長島幸輝(21)
 立石裕也(27)、吉村勝彰(23)、佐藤和樹(28)
 岩井竜次(26)、中上慎也(28)、村田直人(21)

